



抑制カボチャ栽培管理No.1

J A 福井県
福井基幹支店

高品質・高収量を目指して!!

1. 作型

品種	7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
くり将軍			○	○	◎	◎		△	△	×								

○:播種 ◎:定植 △:開花交配 ×:追肥 □:収穫・風乾・調整・出荷

2. 施肥について

肥料名	元肥(kg/10a)	追肥(kg/10a)
マグエース	120	-
発酵鶏ふん	60	-
アグリフラッシュ	70	30

★ポイント

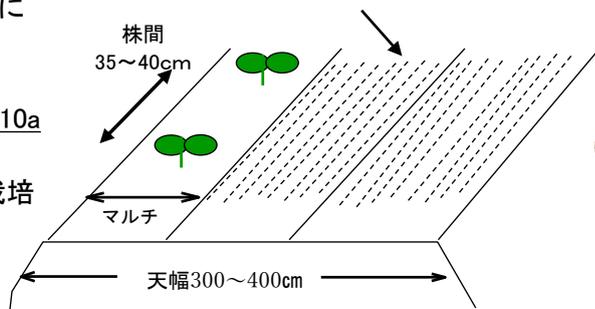
- カボチャは吸肥力が強いため、元肥が多いと「つるぼけ」をおこし葉が大きくなって着果が悪くなります。
- 発酵鶏ふんは植付けの2週間程度前に施用しておく。
- 追肥は生育を見て加減する。タイミングは、1番果開花期につる先に施用する。

3. 圃場準備・栽植密度

★ポイント

- 畦幅300~400cmとし畝片側(定植する側)に130~150cmのマルチを張る。
- 栽植密度
基本:親つる1本仕立て…必要本数700本/10a
畝幅300~400cm 株間35~40cm
- ※畝幅や定植位置は、圃場の排水条件や栽培管理等の作業効率を考慮して調整する。

敷きわらわなどで雑草防止、泥はねを防ぐ



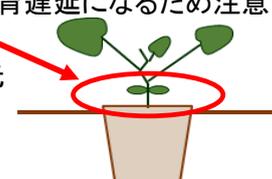
4. 播種・定植

★播種ポイント

- 基本128穴のセルトレイを使用する。(72穴でも可能)
- ※大苗で定植する場合は、9~12cmポリ鉢を使用する。
- 育苗期間は10~14日間。定植日を基準に播種を行う。
- 栽植本数の3%程度の予備苗も作っておく。

★定植ポイント

- 本葉1枚程度で定植する。(根鉢の形成具合を確認)
- ※老化苗での定植は活着遅れ、生育遅延になるため注意!
- 子葉が埋まらないように植える。
- ※定植後、晴天が続く場合は、株元に灌水をする。



圃場風景

5. 病虫害防除

- アブラムシ対策
定植前に、モスピラン粒剤を散布し土壌混和する。(1g/株)
- ネキリムシ対策
定植前に、ダイアジノン粒剤5を土壌混和する。(4~6kg/10a)
- うどんこ病
生育初期の段階で、ダコニール1000(1,000倍、100~300L/10a)を散布し事前防除を徹底する。